

平成26年度 発達障害等のある児童生徒への指導法（発展）研修講座

ABC分析による指導の実際

結城市立結城南中学校 石川 順子

問題行動って？

- 友達をたたく。
- 授業中に離席する。
- 人の物を勝手にとる。
- 課題に取り組まない。
- 話を聞く時に、声を出す・おしゃべりする。

どのように対応していますか？

行動には、原因がある

行動は、「刺激」（行動の原因）によって起こる。

刺激 → **行動**

問題行動を直そう！直そう！
と指導するが、改善しない。

**問題行動の要因を
見つけることが重要です！**

問題行動の基本的な考え方

問題行動をなくす？

問題行動の解決を図ることは、難しい。



**適切な行動を増やす
適切な行動に替える**

問題行動が減ったり、
問題行動を起こす必要がなくなる。

仮想事例 A男

実 態

- 小学生（男児）
- 多動性で授業中の私語が多い。
- 衝動性がある。
- うそをつく
- 時々、人に手を出す。
- 身の回りが散乱している。片付けできない。
- 自・情緒障害特別支援学級に在籍

仮想事例 A男

WISC-Ⅲの結果 （タイプ例）

言語性IQ 100
 動作性IQ 114
 全検査IQ 107

〈郡指数〉 言語理解 100 知覚統合 116
 注意記憶 103 処理速度 111

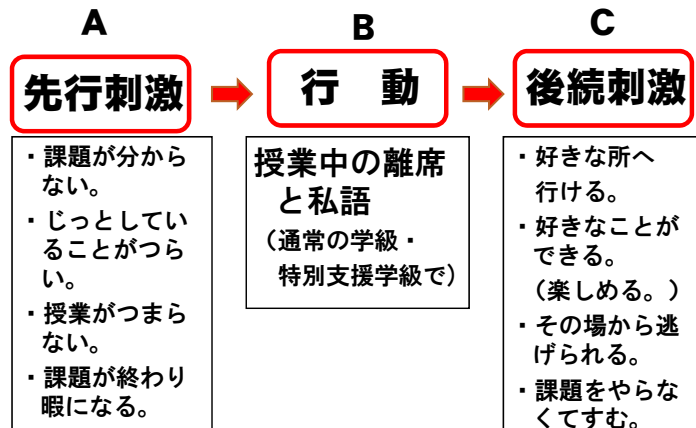
仮想事例 A男

問題行動

授業中、通常の学級及び特別支援学級で

- ・ 離席をする。
- ・ 私語が多く、他の児童に迷惑をかける。
- ・ 課題に取り組まない。

仮想事例 A男



仮想事例 A男

望ましい行動

落ち着いて、学習に取り組むことができる。



短期行動目標

通常の学級で授業中に、20分間、席に座って課題に取り組むことができる。

通常の学級での支援例

A

B

C

先行刺激



行 動



後続刺激

- ・ 座席を前に配置(刺激のない座席環境)
- ・ 授業のパターン化
- ・ 板書の工夫(ユニバーサルデザイン)

- ・ 時間の約束を掲示
- ・ 授業の見通し
- ・ 発表の機会を増化
- ・ 授業中での仕事(手伝い)
- ・ 課題のヒントや量の調整

- ・ 望ましい行動ができていない時にほめる。
- ・ 振り返りをさせる。(自己評価)
- ・ みんなの前で頑張ったことをほめる。

通常の学級での支援例

視覚的な支援

1日の予定を貼って、見通しをもたせる。



授業中に離席や私語の振り返りを行い、視覚的に分かるようにした。

特別支援学級での支援例

A

B

C

先行刺激



行 動



後続刺激

- ・ SSTを計画的に設定する。
- ・ 授業の約束(スキル)を確認する。
- ・ 集中して取り組む練習(スモールステップで)
- ・ 成功体験をもたせる。

- ・ 視覚的なタイマーを使用
- ・ 授業の見通し
- ・ 授業中での仕事(手伝い)
- ・ 課題のヒントや量の調整

- ・ 望ましい行動ができていない時にほめる。
- ・ 振り返りをさせる。(自己評価)
- ・ トークンエコノミー法の活用
- ・ 保護者への連絡(ノート)

特別支援学級での支援例 1

SSTの活用

SST「聞き取り名人になろう」

*ねらい：話を最後まで集中して聞く。



「聞く聞くドリル」話を集中して聞く練習

特別支援学級での支援例 2

視覚的支援の活用



特別支援学級での支援例 3

視覚的支援

視覚的なタイマーの活用



トイレは授業中に行きません。

特別支援学級での支援例 4

トークンエコノミー法の活用



「がんばりカード」でできたことを視覚的に理解できるようにする。



特別支援学級での支援例 5

トークン(ごほうび)の活用



特別支援学級での支援例 6

保護者との連携



保護者との
連絡ノートで
情報交換

4月 16日 (水)	
ハンカチ	やるだ
じゃくばい	顔のわだづけ
れんらくちやうをだす	
1	
2	国語 風切ろつはさ
3	算数 対称の図形 [作業]
4	
5	算数 全国学力調査テストの練習
6	下 校
★今日より陸上練習が始まりました。 体があちこち痛くなると思います。お風呂などで マッサージやストレッチをしてあげてください。 思います。様子を見てあげてください。 昨夜、熱が下がりました。 今は、学校では元気な様子です。 おかげで、様子を見てあげてください。 おかげで、様子を見てあげてください。 おかげで、様子を見てあげてください。	

仮想事例 A男

成果 1

- 離席が徐々に減り、3学期には、離席はほとんどなくなる。
- 通常の学級では、集中して課題に取り組む時間が増えていった。

3学期 →

約30分程度まで伸びた。

仮想事例 A男

成果 2

- 人の話を聞けるようになってきた。
- 集団生活で、みんなと一緒に活動できるようになった。
- うそやいたずらが減った。
- 学力が定着し、国語、算数においては、単元テストで平均70点がとれるようになった。

仮想事例 A男

今後の課題

- トークンエコノミー法を活用し、よい行動が増えてきたが、今後トークン法に頼らずに、伸ばす方法を考えたい。
- 医療機関への受診を勧めていきたい。

ABC分析のまとめ

- (1) 問題行動の原因を見つける。
(焦点化)
- (2) 子どものよい行動に焦点をあててそれを増やす。

- ・ 結果として不適応行動が減少する。
- ・ 人間の行動には、一方が増えると、一方が減るという原理がある。

ABC分析のまとめ

- (3) よい行動・適切な行動をとっている時に、ほめる。



- (4) 予防的対応・早期対応をする。

問題が長期化すると解決が困難である。



ご清聴、
ありがとうございました